

平成30年9月27日

平成30年度 堺区区民評議会の審議経過について

1 平成29年度の経過

【諮問事項】（平成29・30年度）

「住んでよし」「働いてよし」「訪れてよし」のまちのあり方について
～参加でつくる「堺区の都市魅力」～

【中間報告】平成30年3月30日 提出

<中間報告で示された基本的な方向性>

① 地域力を強化し、つながりが実感できるまちをめざす

地域の担い手の創出、地域・社会におけるつながりを強化していくため、地域貢献などの生きがいを感じる活動を得られる場、人のつながりを感じる場を充実させるとともに、企業によるまちづくりへの参加・参画する機会の創出や、女性や高齢者が活躍できる機会を増加させる。

これらを促すため、地域活動の充実に向けた支援の強化や、参加・参画することの楽しさやメリットを伝える情報発信の仕組みを構築する。

② 働きやすい環境を整備し、起業しやすいまちをめざす

堺区で働きたい・起業したいと思う人の増加、起業しやすい環境の充実のため、堺区内の多様な企業を紹介したり、企業に対して働き方改革を推進するように向けた取組を一層進める。さらに、起業したい若者の投資意欲を喚起させる環境づくりとしてのまちの賑わい創出に取り組む。

また、空き家の利活用を始め堺区の地域資源の価値を高め、職住近接や近居モデルについて検討を進める。

③ 郷土愛を醸成し、ホスピタリティ豊かなまちをめざす

都市魅力があふれ、区民がまちに誇りをもつホスピタリティ豊かなまちの実現に向け、子どもの頃から地域に関心をもち、都市魅力に気づいてもらう機会を充実させるとともに、郷土愛を備えた区民が市外に向けて、堺区の良さを積極的に発信することを推進する。

2 平成30年度の経過

【①地域力の強化】【②働きやすい環境の整備】【③郷土愛の醸成】に沿って審議を行うとともに
フィールドワーク・視察やモデル事業を実施しながら、最終答申をとりまとめる。

審議内容

■第1回（4月24日）

今年度のスケジュールを確認。また、フィールドワーク・視察、モデル事業などの目的、方法、内容についての確認を行った。

■第2回（6月21日）

フィールドワークの報告と【①地域力の強化】について議論。

- 主な意見**
- ① 新しい物件ではなく、地元に着のある建物を活かして、つながりづくりの拠点とすることで、地域の人も集まってくるのではないかと。
 - ② まちと関わりを持とうと、小さなことからでも一人ひとりが地域のために何か行動を起こすことで、まちが少しずつ良くなっていく。

■第3回（8月30日）

先進事例視察の報告と【②働きやすい環境の整備】について議論。

- 主な意見**
- ① 働きやすい環境の整備をすることで、それだけで若者が集まり、後継者を育成でき、職住近接で働ける場所が増え、さらに伝統産業を守ることもつながる。
 - ② 中小企業が多いので働きやすい環境整備は資金面で難しいところもある。働くための環境が大事だという重要性を各企業に様々なかたちで説明していくことが必要。

フィールドワーク・視察

■堺区内のフィールドワークを実施（5月28日）

【①地域力の強化】七まちエリアのコミュニティ拠点の一つ「スピニングミレ」

【②働きやすい環境の整備】堺区の老舗企業で就労環境の充実を図る「タマノイ酢」

【③郷土愛の醸成】お寺（妙法寺）を活用しておもてなし空間を創出する「堺 asobi」をそれぞれ見学。

■公民協働の事例「北浜テラス」を視察【②働きやすい環境の整備】【③郷土愛の醸成】（7月27日）

ビルオーナーやテナントで構成する民間の協議会が、護岸沿いの遊休地を河川管理者（大阪府）から包括占有許可を受け、「水辺テラス（川床）」として整備し水辺の賑わい創出につなげた事例。

モデル事業

■大道筋まちのデザイン Café【①地域力の強化】【②働きやすい環境の整備】（7月8日）

（ねらい）大道筋沿道の空き物件を活用してソーシャルビジネスの起業を支援することにより、新たな地域コミュニティの拠点を創出する。

■子ども観光ガイド【③郷土愛の醸成】（7月18日）

（ねらい）仁徳陵古墳の地元小学校6年生が古墳について学習し観光ガイドを体験することにより、郷土愛やシビックプライド、おもてなしの心の醸成を図る。

■サカイ サンセット ガーデン【②働きやすい環境の整備】【③郷土愛の醸成】（8月24日）

（ねらい）ザビエル公園を舞台に夜の賑わい空間を創出することにより、大道筋沿道企業の従業員の働き方改革を図るとともに堺区への来訪者に対する“おもてなし”を実現する。

以上